



- 出場選手
  - 【指揮者】坂井 朋司さん（山崎南）
  - 【1番員】木村 浩亮さん（山崎北）
  - 【2番員】加藤 和男さん（喜五郎）
  - 【3番員】野村 秀典さん（山崎北）
  - 【4番員】根本 正人さん（喜五郎）
  - 【補助員】岸本 和也さん（七軒）

防災  
Disaster  
prevention

●消防ポンプ操法県西地区大会

境町第7分団が敢闘賞、  
加藤和男さんが優秀選手賞



▲加藤和男さん



▲見事なチームワークを見せてくれた第7分団の皆さん

10月16日（日）、下妻市のフィットネスパークきぬにおいて、第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会が開催されました。

10市町（10チーム）が参加し、5番目に出場した境町消防団第7分団（内門本田・内門新田・井草・七軒・喜五郎・山崎南・山崎北）の選手たちは、約半年間、平日の夜間や休日を返上しての厳しい練習で培った消防技術とチームワークを発揮し、見事なポンプ操法で敢闘賞（6位）となりました。



練習に耐えた選手たち、支えた団員や家族を誇りに思います

●加藤正則団長

連日連夜に亘る厳しい練習に耐え、本日見事にポンプ操法をやり遂げた第7分団の選手たちと、その支えとなり、サポートを行ってくれた団員と家族の皆さんのことを誇りに思います。

防災  
Disaster  
prevention

●熊本復興支援  
熊本市へ職員5名を派遣

▼熊本市長（写真右から3番目）を表敬訪問



▲被害調査を行う役場職員たち



▲まだまだ被害の爪痕が残る現地の様子

9月26日から30日の5日間、熊本地震で被災した熊本市へ役場職員5名が、災害復旧対応のため派遣され、現地で被災した建物の被害調査などを精力的に行いました。

また、今回の職員派遣に対して高市早苗総務大臣よりお礼状をいただきました。

防災にかかわる  
町・人の働きを知ろう

# 災害に備えて、高めよう 防災力

災害は、いつ何時訪れるかわかりません。いつか突然やってくる災害に備えて、日頃から防災力を高め、準備をしておくことが大切です。

防災活動を行っている3つの活動や働きをレポートします。

防災  
Disaster  
prevention

●平成28年10月2日（日）・場所：役場駐車場  
8行政区合同防災訓練を実施

▼水消火器体験



▼多くの住民が参加しました



▲起震車で震度7を体験



▲非常食コーナーも



▲煙体験ハウスで火災時の状況を体験

防災力向上の  
きっかけにしたい

●境町消防団第1分団長  
齋藤雅人さん

昨年の関東・東北豪雨災害の際、この地域は甚大な被害を受けました。地域で地域を守っていくためには、今回のような訓練を通して、防災への備えを行うことが重要だと考えます。また、この合同訓練が他の行政区の新しい取り組みのきっかけになってほしいと思います。

10月2日（日）境町役場駐車場にて、境町消防団第1分団管轄の、8行政区合同の防災訓練が行われました。

昨年9月の関東・東北豪雨で被害の大きかった、本船町、下仲町、上仲町、上町、宮本町、坂花町、新吉町、山神町の住民約270名の皆さんが参加しました。この8行政区は4月に災害時の相互応援協定を締結しており、今回初めて、合同の防災訓練が実施されました。

参加者の皆さんは、各行政区ごとに分かれ、土のう作りや、起震車による地震体験、火災時の煙の怖さを体験できる煙体験ハウス、水消火器体験、はしご車体験のほか、役場福祉担当職員による炊出し訓練など、様々な訓練を行いました。

今後も境町全体に防災に備える取り組みが広がっていくことが期待されます。